

平成29年度 学校だより



平成29年6月13日(火)  
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

No.3

E-mail:

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

## 二宮尊徳七代目の子孫 中桐万里子さんのお話

本校の正門を入るとすぐに右側に石像の二宮金次郎像があります。その七代目の子孫の中桐万里子さんを6月1日に京都市よりお呼びし、低学年・高学年に分けて体育館で、金次郎さんがどんな生き方をしたのかを子どもたちに直接お話していただきました。その時の子どもたちの感想(3年生)を少し紹介したいと思います。

わたしは走るのも得意じゃなくて、計算も得意ではないけれど、精一杯頑張ればいいと言ったので、完ぺきじゃなくてもいいから、精一杯頑張っていきたいと思いました。

いろいろなことを考えるときは、いい心に光をさす。じぶんを大切に。ありがとうを言われる人は、努力の達人。体の目で見るとはなくて、心の目で見るとは体の栄養だけでは生きていけない。どんな時も勇気をもって、誇りをもって、くじけずあきらめず一歩踏み出していく。太陽も、田んぼも、ご飯も、人もみんな仲間。ありがとうの反対は当たり前。コツコツやっていくのが大切。人の心には二つある。人になんて言われても自分を大切にする。ありがとうのいっぱい言える人になりたい。

自分を大切にして、お父さんやお母さんにありがとうを言おうと思った。一歩踏み出していこうと思った。テストで100点じゃなくても大丈夫だってことが分かった。自分を大切にしていこうと思った。

子どもたちは中桐さんのお話を40分間本当に集中して聞いていました。それはお話を終えた中桐さんからもお褒めの言葉をいただくほどでした。子どもたちの成長に感謝です。

お話が終わった日の昼休みに1年生がお話に出てきた金次郎像の足が一歩前に踏み出しているか確認していました。

子どもたちの心の耕しになればとお呼びした中桐さんのお話によって、これからの御一小の子どもたちの心の畑から素敵な芽を出すことを願っています。

(文責：竹原一人)

